

2024年10月20日 周東のぞみキリスト教会礼拝メッセージ
鹿島 重男

○聖書箇所～ローマ人への手紙5章1節～11節

○説教題～キリスト者の喜び

この箇所はローマ書全体の位置づけからするならば、義と認められた者への祝福が記されているところで、ローマ書を通しての恵みが集約されているとも見ることができる箇所です。

特にキリスト者が持つ3つの喜びに焦点を当てて見ていきます。

1. 1節～2節 神が私たちに与えて下さった恵みを喜ぶのです。

a) 『こうして』～これは4章25節にかかっています。

キリストによって義と認められた(救いを受けた)喜びです。

b) 神との平和がキリストの恵みにより、与えられている喜びです。

キリスト者の日々の生活における恵みです。

c) やがて神の栄光に預かる望みがあることを喜びます。

これは御国における栄化の恵みです。

- ・植竹先生の最後の言葉。
- ・北海道伝道旅行の時の証。

2. 3節～5節 苦難をも喜びとなります。

- ・苦難が～忍耐が～練られた品性が～希望を生みだします。
- ・この希望は失望に終わりません。私たちに与えられている聖霊によって、神の愛が注がれているからです。ハレルヤ。
- ・三浦綾子さんの証。「病氣」～「病喜」

3. 6節～11節 私たちは神ご自身を喜ぶのです。

- ・十全なキリストの贖いを証ししています。
6節、まだ弱かったころ～。不敬虔な者のために～。
8節、罪人のために～。10節、神に敵対していた私たち～。
キリストの十字架の贖いによって、神の子とせられた喜びです。
- ・私たちは神の救いをいただき恵みの中に生かされているので、主イエス・キリストにあつて、心から神ご自身を喜ぶことができるのです。
- ・ウェストミンスター小教理問答の第1問と答え。
- ・Iコリント6章20節。Iコリント10章31節。
- ・Iテサロニケ人への手紙5章16節～18節。
16 いつも喜んでいなさい。
17 絶えず祈りなさい。
18 すべてのことにおいて感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあつて神があなたがたに望んでおられることです。